

叡啓大学 2026 年度入学者選抜 (春入学)
総合型選抜 (併願枠)・留学生選抜 (春入学)、学校推薦型選抜
グループディスカッション

1 テーマ

日本では 2024 年後半から 2025 年にかけて国産米の不足や価格高騰が起これ、「令和の米騒動」として米にまつわる需給問題や農業の持続可能性などの課題に注目が集まっています。昨年来の米不足の背景には、気候変動や自然災害の影響を筆頭に、長期にわたる減反政策、農業従事者の高齢化や労働力不足、インバウンド旅行者による消費拡大など様々な理由があり、供給不足が米の価格高騰を招いたと考えられています。

農林水産省が発表する小売価格 (POS データ)¹によると、全国のスーパーで販売される国産主食用米 5 キロあたり価格の平均は、2024 年 7 月時点では 2,383 円だったものが、2025 年 5 月には 4,238 円となり、価格の高騰が深刻だったことが示されています。政府備蓄米の流通が促進され同平均価格は 2025 年 7 月には 3,575 円²まで下がりましたが、消費者にとって「以前に比べてコメが高い」状況が続いています。

農業の担い手不足や持続可能性の視点からは、日本の国産米の価格はこれまでが安すぎた、農家の収益を確保するためには 5 キロあたり 4,000 円超が適切な値段であるとする意見もあります³。他方で、日本農業法人協会の「コメ生産に係る会員アンケート」では、5 キロ 4,000 円を上回る消費者価格は生産者から見ても高いと捉えられており⁴、高値による消費者の米離れを懸念する生産者の声も聞かれます。

生産者にとっても、消費者にとっても納得できる、日本国産米の適正価格はいくらなのでしょう。全国紙 18 紙と日本農業新聞の合同アンケート³によると、5 キロあたりの適正価格は消費者が 2 千円台、生産者は 3 千円台だと考えており、大きな差が見られます。今後も国産米を安定して生産し消費できるようにするため、米の販売価格はいくらが適正と考えられるか、生産者や消費者、流通など様々な視点からグループで議論し、具体的な理由を示しながら、近い将来の国産主食用米 5 kg のスーパーでの販売価格がどうあるべきか意見をまとめ、その平均販売価格 (または 2,800 ~ 3,000 円、4,000 ~ 4,200 円のような 200 円幅での価格) を示してください。

(本文中の注釈)

- 1 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」からスーパーでの販売数量・価格の推移 (KSP-POS データ全国等)

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

- 2 農林水産省「米に関するメールマガジン(第 138 号)(令和 7 年 8 月 27 日)」

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mailmaga/mail138/mail138.html>

- 3 日本農業新聞 2025 年 6 月 8 日 [ニッポンの米] 適正価格は消費者 2 千円台、生産者 3 千円台 新聞合同アンケート

<https://www.agrinews.co.jp/news/index/311285>

- 4 公益社団法人 日本農業法人協会「コメ生産に係る会員アンケート」結果概要

<https://d2erdyxclmbvqa.cloudfront.net/wp-content/uploads/20250530183025/b60dc613029b62835338f442be054b47.pdf>

(必読資料)

日本農業新聞 2025年6月8日 [ニッポンの米] 適正価格は消費者2千円台、生産者3千円台 新聞合同アンケート、2025年11月10日最終閲覧

<https://www.agrinews.co.jp/news/index/311285>

公益社団法人 日本農業法人協会「コメ生産に係る会員アンケート」結果概要 2025年11月10日最終閲覧

<https://d2erdyxclmbvqa.cloudfront.net/wp-content/uploads/20250530183025/b60dc613029b62835338f442be054b47.pdf>

全国農業協同組合連合会 (JA 全農)「米流通に関するファクトブック」2025年7月発行、2025年11月10日最終閲覧

<https://www.zennoh.or.jp/ricefactbook/pdf/factbook.pdf>

(<https://www.zennoh.or.jp/press/release/2025/105622.html>)

(参考資料)

農林水産省ホームページ「米(稲)・麦・大豆」2025年11月10日最終閲覧

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/index.html>

農林水産省 BUZZMAFF お米の価格について(担当者解説動画) 2025年11月10日最終閲覧

<https://youtu.be/IcePj-bTXVI>

NHK ニュース WEB コメの価格が決まる仕組み 実は複雑? 特殊なメカニズムに迫る 2025年11月10日最終閲覧

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250425/k10014788811000.html>

(次ページに続く)

2 事前課題

日本の消費者にとっても、生産者にとっても納得できる、日本国産米の適正価格はいくらなのでしょう。社会・経済・自然環境の変化を踏まえ様々な視点から検討した上で、今後も国産米を安定して生産し消費できるようにするため、米の販売価格はいくらが適正と考えられるか、あなたの考える「国産主食用米5kgのスーパーでの適正販売価格」と具体的な理由をまとめ、1人3分以内(時間厳守)で発表する資料を作成してください。

「総合型選抜(併願枠)・留学生選抜(春入学)／オンライン実施」を受験する方

【事前課題発表用資料の作成・発表方法】

- ・ 事前課題発表用資料は手書き、パソコンなど作成方法は問いません。また、用紙の種類やサイズ、枚数などは指定しません。
- ・ 資料や図表等を引用する場合は、必ず出典を記載してください。
- ・ 発表方法は、次のいずれかから自身の取り組みやすい方法を選んでください。
なお、作成方法や発表方法については評価に影響しません。
 - 紙面をパソコン等のカメラに向けて提示し発表する。
 - Zoomの画面共有機能を用いて発表する。

「学校推薦型選抜／対面実施」を受験する方

【事前課題発表用資料の作成・発表方法】

- ・ 事前課題発表用資料は手書き、パソコンなど作成方法は問いません。また、用紙の種類やサイズ、枚数などは指定しません。
- ・ 資料や図表等を引用する場合は、必ず出典を記載してください。
- ・ 発表方法は、次のいずれかから自身の取り組みやすい方法を選んでください。
なお、作成方法や発表方法については評価に影響しません。
 - 作成した発表用資料を紙媒体で当日持参し、提示しながら発表する。
(必ず、事前に提出したものと同一発表用資料で発表してください。)
 - 事前に提出した発表用資料を用いて発表する。
(発表のためのパソコン及びプロジェクターの準備は大学で行います。)
- ・ 表紙には、必ず受験番号を記載してください。(氏名や高校名は記載しないでください。)
- ・ 作成した発表用資料は、PDF形式のデータ(手書きの場合は写真データも可)で事前に提出してください。ファイル名は「受験番号・事前課題」にしてください。

提出期限：2025年12月1日(月)午前9時まで ※厳守

提出方法：下記のメールアドレスに、メール添付により提出してください。

メールアドレス：admissions@eikei.ac.jp

- ※ 期限までに提出されない場合は、第2次選考の受験を認めません。
- ※ 原則、提出は1人1回とします。提出した事前課題の差し替えはできません。複数提出した場合は、最初に提出されたファイルのみ受け付けます。
- ※ 提出する際には、メール本文に「受験番号」、「氏名」、「事前課題の提出」を記載してください。

3 グループディスカッションの進め方

- ・ **試験時間は90分です。試験は日本語で実施します。**
- ・ ①個人発表、②グループ内での役割分担、③ディスカッション、④グループ発表の流れでグループディスカッションを行い、当日指定された時間までに、議論を終結させてください。
- ・ グループの人数は6人程度(予定)です。下記の【進め方の例】を参考に、議論の進め方や時間配分などについても、グループで決めてください。試験官は議論の進行に関与しません。
- ・ 他の人の発表の際には、各自でメモ等をしながら話を聞いてください。
- ・ 試験の最中に、資料等を参照してもかまいません。ただし、参照する資料は紙媒体で手元に準備しているものに限りです。
- ・ 試験終了10分前になったら、到達した結論または議論の過程について、試験官にプレゼンテーションを行ってください。全員が同じ結論に到達する必要はなく、複数の結論を含んだまとめでもかまいません。

【進め方の例】 ※時間は目安

① 個人発表(18分程度)

事前課題をグループのメンバーに発表する。

※ 発表時間は1人3分以内(時間厳守)

※ 他の人の発表の際には、他のメンバーは聞きながらメモ等を行う。

② 役割分担等(2分程度)

役割分担(司会、書記、タイムキーパー、発表者など)、議論の進め方や時間配分などについて、グループで話し合う。役割は議論の途中で交代をしても良い。

③ ディスカッション(60分程度)

個人の発表内容を踏まえ、「国産主食用米5kgのスーパーでの販売価格」の適正価格はいくらであるかを議論し、具体的な理由とともに、グループ内で合意できる平均販売価格(2,800~3,000円、4,000~4,200円のような200円幅での価格も可)を設定する。

(進め方のヒント)

- ・ 具体的な適正価格案について、様々な理由の妥当性や重要性、稲作及び米産業の流通慣行、既存の規制との整合性等を検討する。それぞれの発表を聞き、共通点や相違点を見出したリ、異なる意見から折衷(せっちゅう)案を考えたりしましょう。
- ・ グループで、特に重要だと考えて議論する点はどのようなことでしょうか。
- ・ どんな値段設定をすることで、米の生産者・消費者・その他米の流通に関わる様々な人たちにはどのような影響があるか考えてみましょう。
- ・ グループで提案する価格での米販売を実現させるとともに、日本の米産業を持続可能にするために、追加に必要な政府や社会による仕組み・支援があるか考えてみましょう。
- ・ グループの議論や提案、到達した結論がテーマに込んでいるかを考えてみましょう。

④ グループ発表(10分程度)

到達した結論とその理由について発表する。

※ 発表は複数人で行ってもかまわない。

※ 結論に到達できなかった場合には、議論の過程について発表しても良い。

4 グループディスカッションの注意事項

- ・ グループディスカッションで知り得た同じグループの受験者に関する情報を、他者へ伝えることは禁止します。
- ・ グループディスカッションの実施中に、受験者自身のプライバシーに関する内容を話題に挙げる場合は、受験者自身の責任において行ってください。

5 評価基準

本学は、次の基準でグループディスカッションを評価します。

評価観点	評価基準	アドミッション・ポリシー
姿勢・視野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「グループディスカッションの進め方」をふまえて取り組んでいるか。 ・ テーマを適切に理解し、特定の視点に捉われることなく様々な面からテーマについて自ら考えて、調査、検討し、より良いグループディスカッションとするための事前課題等の準備ができているか。 ・ グループ内で出された異なる視点や情報を取り入れて、より良い案を生み出す姿勢が見られるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組もうとする姿勢 ・ 自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組もうとする姿勢
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで決めた役割を適切に担っているか。役割に応じた貢献をしているか。 ・ 異なる考えや価値観に理解を示し、他者と積極的にコミュニケーションを行っているか。 ・ 他者の話をよく聴いて、議論を円滑に進めようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者と積極的にコミュニケーションを行う姿勢
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題や自らの意見、考えについて、見せ方や表現方法を工夫したり背景や根拠となる情報などを適切に伝えたりするなど、他の人にわかりやすく伝えることができているか。 ・ グループディスカッションの発言の中で知識や思考力があると感じられるか。 ・ 将来大きく伸びる可能性や伸びしろを持っていることを、強く感じさせるか。または、上記の評価観点・基準以外で特筆すべき良い点があるか。 	—